



## 当社の重油・灯油・ガス・電力の使用状況

輸配送車輛の燃料使用量については、自社所有車輛以外の輸配送も多く、十分なデータ集計がなされていないため、今回は掲載を見合わせております。

		食品事業	低温物流事業
電	力	CO <sub>2</sub> 排出量( kgC )	10,176,569
		原単位( kg )	71
原単位 食品事業関係は生産( t )あたり、低温物流事業関係は入庫( t )あたりを示します。 CO <sub>2</sub> 排出係数=0.12kgC/kwh			
重	油	CO <sub>2</sub> 排出量( kgC )	3,920,303
		原単位( kg )	27
原単位 食品事業関係は生産( t )あたりを示します。 低温物流事業関係は食品工場に比べ使用量が少ない為、調査対象外とした。 CO <sub>2</sub> 排出係数は環境庁資料によります。			
灯	油	CO <sub>2</sub> 排出量( kgC )	1,404,530
		原単位( kg )	10
原単位 食品事業関係は生産( t )あたりを示します。 低温物流事業関係は食品工場に比べ使用量が少ない為、調査対象外とした。 CO <sub>2</sub> 排出係数は環境庁資料によります。			
ガス( LPG、都市ガス等 )		CO <sub>2</sub> 排出量( kgC )	5,140,243
		原単位( kg )	37
原単位 食品事業関係は生産( t )あたりを示します。 低温物流事業関係は食品工場に比べ使用量が少ない為、調査対象外とした。 CO <sub>2</sub> 排出係数は環境庁資料によります。			

## 当社のエネルギー利用の状況

### < 食品事業関係 >

加工食品生産工場の使用エネルギーの多くは上記4種類になっています。冷凍食品製造のエネルギー消費では電力の他にガスの使用量も比較的高いことがわかります。

### < 低温物流事業関係 >

電力による冷蔵が業務の中心となるため、その使用量は高くなっています。コストセービングの意味からも省エネルギーの取り組みは従来からも続けられています。

		加工食品事業関係	低温物流事業関係
電	力	食品工場における食品製造機械、冷凍機、排水処理設備、照明等の電力使用が大きな比重を占めています。	冷蔵倉庫の冷凍機運転のための使用電力が大部分になります。冷凍・冷蔵技術が当事業の基盤であることから電力は多量に使用されています。
重	油	製造時の加熱、洗浄のための蒸気供給、フライヤー等への熱源供給が主な使用用途になっています。	使用量は微少です。
灯	油	同 上	
ガ	ス	同 上	

## 設定目標とその取り組み

当社の業務活動が冷凍食品の生産、冷蔵倉庫保管業務等エネルギー消費の多くを電力、重油、ガス等に依存していることから、これらのエネルギー消費によるCO<sub>2</sub>の排出量を削減することは大きな課題となっています。

又、特に電力の削減に関しましては冷凍食品、冷蔵倉庫保管業務ともに商品品質に直接影響することが当社の特徴になっています。

### < 設定目標 >

従来より、環境保全の視点やコストダウンの取り組みとしてこの課題に対応してきましたが、特に本年度は食品事業に重点を置き、夫々の消費エネルギー量をCO<sub>2</sub>の排出量に換算しその原単位(生産量あたり)対前年比5%削減することを目標として取り組みを行っています。

低温物流事業に関しましては削減事例の共有化を深めること、また従来の取り組みの再分析を行い次年度以降の目標設定に反映いたします。

本年度目標に対する各事業所の取り組みのパターンは下記の通りです。

事業所の環境管理責任者が夫々の使用エネルギーのCO<sub>2</sub>排出量の傾向、優先取り組み順位等を確認する。

取り組み計画を策定し、担当者を設定、進捗管理を行う。

所轄する環境保全推進責任者は成果創出のためのサポートを行い、期間終了後、環境管理責任者は結果を取りまとめ、環境保全委員会に報告する。

## 今後の省エネルギーの取り組みに向けて

先にも述べましたが、ニチレイ、ニチレイグループの主要業務である冷凍食品の生産・冷蔵倉庫の保管業務が、いずれも電力等を中心とする多くのエネルギー消費を必要とすることから、この課題への対応は当社にとって重要な事項として認識しております。

特に食品事業を中心に従来通り、エネルギー消費低減化によるCO<sub>2</sub>の削減への努力を継続すると共に、手段の多様化を図ること(例えばコージェネレーション等)が今後の取り組みのポイントとなります。

### < 食品事業関係 >

優先順位の比較的高い電力、重油等を中心に具体的な取り組みの事業所を重点化しスケジュールに基づいた成果創出を行います。具体的には下記の対応を行います。

環境マネジメントシステムを構築する主要事業所(本報告書14頁をご参照下さい)を本年度の重点化対象事業所としマネジメントプログラムの策定、その進捗管理を行います。

取り組みの多様化を図ります。具体的には輸配送車輛の排気ガスに対しても現状把握調査を行い次年度の課題として取り組みます。個々の事業所の状況に応じて、コージェネレーション等対応の検討を行います。

### < 低温物流事業関係 >

取り組みの多様化を図ります。具体的には輸配送車輛の排気ガスに対しても現状把握調査を行い、次年度の課題として取り組みます。